

仕 様 書

(健康管理システム導入委託業務)

令和3年度

小 値 賀 町

健康管理システム導入業務委託 仕様書

第1条 この仕様書は、健康管理システム導入業務委託について、必要な事項を定めるものとする。

第2条 システムの仕様は以下のとおりとし、入札額には業務遂行に必要な全ての費用を含めることとする。

1 目的

住民の健康に関するデータを記録し、個人の健康課題へのアプローチとフォローアップはもちろん、住民全体に共通する健康課題の洗い出しや対策を行うとことで町民の健康づくりと健康増進に寄与し、ひいては医療費抑制等につなげるために本業務を行う。加えて、マイナンバーカードの発行と同時に進められている情報連携のひとつである、個人の健康管理記録であるパーソナル・ヘルス・レコードについて整備する必要があることから、合わせて本業務において行う。

2 委託業務の概要

本委託業務は住民への保健及び健康増進のためのソフトウェア及びそれらを稼働させるハードウェアを一体で導入するものである。

3 小値賀町健康管理システムは以下の機能で構成されるものとする。

- ①共通システム（各種マスタ管理、EUC 機能等）
- ②成人検診
- ③特定検診・特定保健指導
- ④妊産婦検診
- ⑤乳幼児健診
- ⑥予防接種
- ⑦健康教室・健康相談
- ⑧報告書
- ⑨事業支援（各種検診の予約、受付）
- ⑩番号法・中間サーバ連携（副本登録）
- ⑪その他事業

4 地域情報プラットフォーム準拠登録であること。

5 導入システムは Web ベースのパッケージシステムであること。メタフレームの使用等、疑似 Web 型は認めないこととする。

6 本町の住民情報システム及び統合宛名システムとのデータ連携が可能なこと。

7 移行が必要なデータは下記の通りとし、移行データは直近 5 年間分とする。

- ①成人検診
- ②特定検診・特定保健指導
（国保連中央会からデータを取得すること）
- ③本町が管理する独自項目

8 導入パッケージの詳細機能については、「別紙 1 機能要件詳細」に記載の通りであるが、導入パッケージの標準機能で満たすことの出来ない部分はカスタマイズの上で対応すること。

9 履行期間は契約締結日から令和 4 年 3 月 31 日までとし、システム本番稼働は令和 4 年 4 月 1 日とする。

- 10 導入方法は、ハウジング方式を採用する。本システム専用のサーバ機等を受託者にて準備し、システムを構築すること。サーバ機等の仕様は「別紙 2 機器仕様」に示す通りとする。
- 11 入札書には、システム導入に係る全ての費用の総額を記載すること。ただし、それぞれの内訳が分かるようにすること。
- 12 機器及び OS 等は、最低でも導入から 5 年間はサポート（保守）できるものを選定し、システムの安定運用に努めること。
- 13 日々のシステム及びデータをイメージバックアップ方式にて取得できる環境を構築すること。バックアップ用の機器及びソフトウェア調達も見積範囲内とする。
- 14 機器類及びシステムに必要なソフトウェア（業務パッケージソフト、データベースソフト、バックアップ用ソフト、サーバ OS 等）は、導入する健康管理システムが正常に稼働するスペックを用意すること。なお、本業務内では下記の機器を調達範囲とするため、必要な台数を入札額に含めること。
 - ①サーバ機：1 台
 - ②バックアップ用 NAS：1 台
 - ③OS 及びミドルウェア：1 式
 - ④端末：既設端末を使用するため調達不要。ライセンスは 7 式準備すること。
 - ⑤その他ハウジングを実現するために必要な費用
 - ⑥リモート保守を行うための回線整備費用（本町・ハウジング施設・保守業者間の回線整備に係る費用）
- 15 導入するパッケージシステムは「別紙 1 機能要件詳細」に記載の機能を全て有するパッケージであること。
- 16 上記、「別紙 1 機能要件詳細」に記載の項目を標準機能で満たすことが出来ない場合は、カスタマイズを行ったうえで対応させること。
- 17 導入にあたり本町庁舎内で作業を行う場合は、事前に日程を連絡したうえで、本町の許可を得て作業を行うこと。
- 18 本番稼働までの全体スケジュールを本町に提示し、承認を得たうえで作業を開始すること。
- 19 本番稼働までに本町職員がシステム操作を理解するための期間を十分に確保できるスケジュールを策定すること。最低でも本番稼働前の 1 ヶ月間はテスト期間として設けることが望ましい。
- 20 住民情報システム及び統合宛名システム連携に関する項目は、既存の保守業者との各種協議が必要になるため、本町職員の支援を行うとともに、必要に応じて協議の場に参加すること。
- 21 システムを使用する職員全員に向けて導入研修（操作説明）を実施すること。開催時期、開催場所及び開催方法は本町と協議のうえで決定するものとする。
- 22 研修に使用するマニュアル類は受託者にて準備すること。

23 システム稼働後の保守サポートはリモート対応を原則許可するが、最低でも半期に1度は本町を訪問し、運用に関するヒアリングや有益な情報提供等、サポートを実施すること。

24 軽微な制度改正等には、保守契約の範囲内で対応すること。

第3条 本業務における成果品は下記のものとし、書面及びCD-Rを1部ずつ納品すること。

- ①健康管理システム 一式
- ②操作マニュアル 一式

第4条 本委託業務の全部を一括して第三者に再委託してはならない。一部再委託についてはあらかじめ書面で委託者の承認を得なければ再委託することができない。

第5条 受託者は、小値賀町個人情報保護条例（平成17年6月条例第15号）その他の個人情報保護に関する規定を遵守しなければならない。

2 本業務における個人情報の取扱いに当たって、受託者は小値賀町個人情報保護条例施行規則（平成17年6月規則第14号）及び別紙1（個人情報取扱注意事項）の規定により、個人情報保護のために必要な措置を講じなければならない。

3 受託者は、分析結果について、個人が特定できない状態とする場合に限り、当該情報の保管及び利用をすることができる。

第6条 本特記仕様書に定めのない事項は、担当者と協議の上決定することとする。

別紙1 機能要件詳細

① 共通

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	共通	動作環境	今後5年間の安定稼働の為、最新OSに対応したシステムであること。	必須	
2	共通	動作環境	サーバはWindows Server2012 R2、2016、2019に対応したシステムであること。	必須	
3	共通	動作環境	クライアントは本契約満了日まで延長サポートが受けられるWindowsのVerに対応したシステムであること。	必須	
4	共通	システム形態	管理コスト削減の為、WEB型システムであること。ただし、商用のXenAPP等を用いて管理コスト実現を行う事は可能。	必須	
5	共通	システム形態	WEBブラウザのVerや特定のブラウザに依存しないこと。	必須	
6	共通	システム形態	クライアントOSに標準でインストールされているVerのWEBブラウザもしくは、指定するWEBブラウザの利用ができること。	必須	
7	共通	文字コード	文字コードはUnicode(UTF-8)を使用し、ベンダーに依存するメーカー固有外字を使用していないこと。	必須	
8	共通	文字コード	フォントは住基ネット明朝 (KAJO_明朝) を使用すること。	必須	
9	共通	文字コード	フォントはM S 明朝 (JIS2004) も使用できること。	必須	
10	共通	文字コード	フォントはIPAmj明朝も使用できること。		
11	共通	外字	外字はEUC機能を用いてExcelに出力した際にも文字化けをしないこと。	必須	
12	共通	セキュリティ	パスワードは最大40文字まで設定でき、英字大文字、英字小文字、数字、記号の利用・組合せが自由に設定できること。	必須	
13	共通	セキュリティ	パスワードの有効期限を日数、日付どちらでも設定できること。	必須	
14	共通	セキュリティ	パスワードの有効期限切れ前の何日前からログイン時にパスワード変更を促すメッセージを表示するか設定できること。	必須	
15	共通	セキュリティ	パスワードの履歴を最大5回分以上保存でき、同じパスワードを再利用できないこと。	必須	
16	共通	セキュリティ	パスワードの変更をユーザに許可する/しないが設定できること。	必須	
17	共通	セキュリティ	システムの利用記録(ユーザーID、マシン名、OSユーザー、IP、ログイン時刻、ログオフ時刻、操作内容、操作機能)を管理できること。	必須	
18	共通	セキュリティ	システムの利用記録を条件(日付、業務区分、操作内容、操作機能等)を指定し検索・一覧表への出力ができること。	必須	
19	共通	セキュリティ	個人情報の利用記録(ユーザーID、マシン名、OSユーザー、IP、アクセス時刻、操作内容、警告情報)を管理できること。	必須	
20	共通	セキュリティ	個人情報の利用記録を条件(日付、宛番号、個人番号)を指定し検索・一覧表への出力ができること。	必須	
21	共通	セキュリティ	個人情報の利用記録を一覧表に出力する際は個人番号にマスキング処理が行われること。	必須	
22	共通	操作性	各機能メニューはグループ、ユーザー単位で使用権限の可・不可の設定が可能なこと。	必須	
23	共通	操作性	ユーザー自身が良く使う機能だけを好きな順番で設定可能で追加・削除が自由にできるマイメニュー機能があること。	必須	
24	共通	操作性	ユーザー単位で画面の背景・文字の配色を設定可能なこと。	必須	
25	共通	操作性	業務や処理などメニューの単位でのマルチウィンドウ処理が可能であること。	必須	
26	共通	操作性	操作に関しては、マウス・テンキー・バーコードリーダーの併用を可能にすること。	必須	
27	共通	操作性	画面の各ボタンに任意のショートカットキーを設定し、操作の簡略化が可能なこと。 また使用しない場合は、全体での未使用設定が行えること。	必須	
28	共通	操作性	提案範囲の各システムにおけるすべてのGUI、ボタン、アイコンを統一させてあること。	必須	
29	共通	操作性	すべての日付入力はカレンダー機能を用いて簡単に入力が可能なこと。 カレンダーは和暦表示されており、土、日や今日、選択した日付が色分け表示され、一目で分かること。	必須	
30	共通	操作性	日付入力は、1:明治、2:大正、3:昭和、4:平成、5:令和の短縮入力ができること。	必須	
31	共通	操作性	日付入力は、カレンダーからの選択入力ができること。 また、ワンクリックで前月、翌月や、前後3ヶ月に簡単に切り替えが可能なこと。	必須	
32	共通	操作性	コードでの入力項目は一覧からの選択だけでなく、コード番号の直接入力にも対応すること。	必須	
33	共通	操作性	コード検索画面をワンクリックで表示できること。	必須	
34	共通	操作性	ユーザー毎に画面サイズがPCの解像度に合わせて自動で最大化を行う/行わないの設定が可能であること。	必須	
35	共通	操作性	提案範囲のすべての画面から現在の画面を残したまま、他の業務に切り替えが可能なこと。	必須	
36	共通	操作性	入力項目に対する必須エラー、範囲エラー、重複エラーの発生時に、該当項目にエラーアイコン+チップヒントでのエラー内容が表示されること。	必須	
37	共通	操作性	コードや数値入力などの項目は基準値を設定することができ、値によって項目の文字・背景を任意の色に変更し表示できること。	必須	
38	共通	操作性	ワンクリックで、該当の画面のハードコピーが取得できること。	必須	
39	共通	操作性	取得されたハードコピーに、取得したユーザー名と取得日時が表示されること。	必須	
40	共通	操作性	ワンクリックで、該当の画面のヘルプが表示できること。	必須	
41	共通	EUC機能	登録された全データを任意の条件で抽出し、ExcelとCSVに出力できること。	必須	
42	共通	EUC機能	CSVの出力時に、文字コードをS-JIS、Unicode(UTF-8)、Unicode(UTF-16)の指定ができること。	必須	

① 共通

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
43	共通	EUC機能	CSVの出力時に、見出し出力の有無が指定ができること。	必須	
44	共通	EUC機能	Excelはxls、xlsxの両方の形式に対応していること。	必須	
45	共通	EUC機能	ExcelとCSVの出力時には出力項目、出力順、条件指定が自由に設定できること。	必須	
46	共通	EUC機能	Excel出力時に改シートの指定が任意にできること。	必須	
47	共通	EUC機能	Excel出力時に印刷サイズ、向き、ヘッダー、フッター、罫線、網掛け、フォント種類・サイズが自由に設定できること。	必須	
48	共通	EUC機能	各種設定した条件を保存し、再利用できること。	必須	
49	共通	EUC機能	SQL文を直接指定しての出力も可能なこと。	必須	
50	共通	マスター	実施している検診や事業の内容をすべて管理できること。	必須	
51	共通	マスター	運用途中で、管理項目の変更や追加がある場合でも対応が可能なこと。	必須	
52	共通	マスター	管理項目の変更や追加を行った場合、過去データの画面にも反映させるかどうかを任意に設定できること。	必須	
53	共通	マスター	管理項目の変更や追加をいつから入力画面に反映させるかを年月日単位で指定できること。	必須	
54	共通	マスター	基準値の設定が、運用途中で変更できること。	必須	
55	共通	マスター	変更した基準値の設定を任意の年月日から適用できること。	必須	
56	共通	マスター	コード項目をユーザー側で追加・変更が可能であること。	必須	
57	共通	マスター	医療機関コードは全業務共通で管理ができること。	必須	
58	共通	マスター	医療機関コードは業務別に表示有無の設定ができること。	必須	
59	共通	マスター	帳票をユーザー側で変更でき、年度毎のデザイン変更等に対応していること。	必須	
60	共通	マスター	新たな帳票の追加をユーザー側で行えること。	必須	
61	共通	マスター	帳票に出力するバーコードに関して、バーコードの種類やサイズ等を設定で変更できること。 また、複数種類のバーコード設定を保存でき、運用可能なこと。 例) A帳票にはITFバーコードを出力し、B帳票にはNW7バーコードを出力する等	必須	
62	共通	住基連携	住民基本台帳システムとのデータ連携が可能であること。	必須	
63	共通	住基連携	基幹システムから連携した個人番号を暗号化してDBに保持できること。	必須	
64	共通	住基連携	住基情報については、住民情報システムで管理する情報のうち、健康管理システムとして必要と考えるすべての項目について管理できること。	必須	
65	共通	住基連携	住民基本台帳に登録されていない個人の住民情報を事前に登録できること。	必須	
66	共通	住基連携	住民情報は住民でなくなった者（転出者、死亡者など）の情報も管理できること。	必須	
67	共通	住基連携	旧氏名、旧住所の管理ができること。		
68	共通	住基連携	地区は、最大6パターンの地区コードを管理できること。		
69	共通	住基連携	地区毎に担当保健師などの自動振付及び手動設定ができること。	必須	
70	共通	住基連携	画面上で住民区分（現住民、外国人、転出者、死亡者等）が、一目で分かるように色分けされており、太字、文字色、背景色が自由に設定できること。	必須	
71	共通	個人情報補助項目設定	個人の補助項目として、連絡先情報（複数）、職業、ハイリスク情報と期間、備考等の入力ができること。	必須	
72	共通	個人情報補助項目設定	個人を特定できる全ての画面から、個人の補助項目を確認するための画面が表示できること。	必須	
73	共通	個人情報補助項目設定	住基情報とは異なる送付先や氏名の管理・登録が行えること。 その際、住所のみ使用、氏名のみ使用、全て使用といった風に、使用項目の設定ができること。	必須	
74	共通	個人情報補助項目設定	国保、後期高齢、住民税（住民区分、住基の非課税世帯、国保の非課税世帯）、介護保険情報の連携が行えること。	必須	
75	共通	個人情報補助項目設定	その他保険資格情報の入力・管理ができること。	必須	
76	共通	個人情報補助項目設定	減免情報の入力・管理ができること。	必須	
77	共通	個人情報補助項目設定	年金情報の入力・管理ができること。	必須	
78	共通	個人表示	個人を指定した際に、送付先・備考が登録されている場合にはアイコンが表示されること。	必須	
79	共通	個人表示	送付先アイコンをクリックすると、住基情報も確認できること。	必須	
80	共通	個人表示	ハイリスクが登録されている場合は、画面でその内容が確認できること。	必須	
81	共通	個人表示	転出後、再転入した住民に対して、以前の検診結果等の情報が紐づけられること。	必須	
82	共通	個人表示	住民の照会履歴を保持し、その履歴の中から住民の指定ができること。	必須	
83	共通	個人表示	各健診(検診)の画面では、受診日時点年齢と今日時点年齢が同時に表示できること。	必須	
84	共通	個人表示	連絡先情報のうち1つを指定して、個人の健診(検診)結果登録画面や照会画面で直接入力および照会を行うことができること。		

① 共通

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
85	共通	登録・照会機能	登録・照会画面は、任意の項目を業務毎に設定し、入力・照会に使用できること。	必須	
86	共通	登録・照会機能	画面に表示する項目は基準日を設定することで、任意の配置や内容に切り替えられること。	必須	
87	共通	登録・照会機能	検診等の履歴表示には任意の表示項目を設定できること。	必須	
88	共通	登録・照会機能	履歴表示は、項目の幅、横方向位置、縦方向位置、表示・非表示、ソート順、ソートの昇順・降順の設定ができること。	必須	
89	共通	登録・照会機能	登録・照会画面の履歴表示では、業務を指定しての絞り込みができること。	必須	
90	共通	登録・照会機能	業務毎の対象性別や対象年齢の設定が行え、対象外の住民を指定した際にエラーメッセージが表示され誤登録を防げること。	必須	
91	共通	登録・照会機能	登録画面で管理項目毎に、自動計算式の設定、入力可・不可、必須入力、初期値の設定ができること。	必須	
92	共通	登録・照会機能	全業務の結果データを一括で照会できる画面があること。	必須	
93	共通	一括登録	複数の結果データを任意の項目の組み合わせで、一括入力ができること。	必須	
94	共通	一括登録	一括入力の入力画面は一覧表形式になっており、個人毎に日付や数値が異なるデータも登録できること。	必須	
95	共通	一括登録	対象年齢、性別、年度内重複受診、欠診届け等のエラーチェック機能がありアイコン表示で判別できること。	必須	
96	共通	一括登録	入力した項目の値をExcelのフィルコピーと同じ動作で別の個人の値にコピーできること。	必須	
97	共通	一括登録	項目入力時のEnterキー押下の挙動について、フォーカスの移動先を横・縦いづれかにも切り替えができること。	必須	
98	共通	一括登録	一括入力は新規登録データだけでなく、登録済みデータの更新にも使用できること。	必須	
99	共通	一括登録	一括入力時に一覧表示された登録データが新規が更新がアイコン表示で判別できること。	必須	
100	共通	一括登録	一括入力時に設定した項目の組み合わせの設定はタイトルを付けて複数保持できること。	必須	
101	共通	一括登録	登録対象者には、Excel、CSVデータから読み込みの他、条件検索機能で抽出した対象者を外部ファイルを経ず直接利用できること。	必須	
102	共通	一括登録	一括登録画面から、登録済みの住民を選択し、個別の結果登録画面または照会画面に遷移できること。	必須	
103	共通	一括登録	一括登録画面から、登録済みの住民を選択し、データの削除ができること。	必須	
104	共通	アドレスタック	住民の絞り込み条件を指定、もしくは住民を指定して、A4やタックシール、はがきなどの出力ができること。	必須	
105	共通	アドレスタック	必要なタックシールやはがきの様式に応じて、新しい帳票種類の追加が無制限に行えること。	必須	
106	共通	アドレスタック	タックシールは、前回印刷時の残りのタックシールが使用できるよう印刷開始位置が指定できること。	必須	
107	共通	印刷処理	すべての帳票出力時の絞り込み条件として、送付先指定がある住民のみでの絞り込み指定ができること。	必須	
108	共通	印刷処理	すべての帳票出力時の絞り込み条件として、送付先指定がある住民を除く指定ができること。	必須	
109	共通	印刷処理	すべての帳票出力時の出力設定として、送付先の有無にかかわらず住基情報を優先することができること。	必須	
110	共通	印刷処理	すべての帳票出力時の出力設定として、送付先の設定があれば送付先情報を優先することができること。	必須	
111	共通	印刷処理	すべての帳票出力時の絞り込み条件として、支援対象者での絞り込み指定ができること。	必須	
112	共通	印刷処理	すべての帳票出力時の絞り込み条件として、支援対象者を除く絞り込み指定ができること。	必須	
113	共通	印刷処理	帳票印刷時に発行履歴を残すことができること。	必須	
114	共通	印刷処理	帳票の発行履歴を帳票単位で検索・照会できること。	必須	
115	共通	印刷処理	帳票の発行履歴を個人を指定して検索・照会できること。	必須	
116	共通	印刷処理	外部ファイルを帳票の発行履歴として取り込むことができること。	必須	
117	住基連携	警告情報	DV等支援対象者の情報の自動連携（以下、警告情報）が可能であること。	必須	
118	住基連携	警告情報	複数名の支援措置責任者の管理が可能であること。	必須	
119	住基連携	警告情報	警告情報を基に、画面での住民基本台帳の閲覧制限が可能であること。	必須	
120	住基連携	警告情報	警告情報を基に、帳票での印刷制限が可能であること。	必須	
121	住基連携	警告情報	警告情報の表示については、システム日付時点で有効な警告情報と、過去の警告情報とがアイコンを色分けする等で一目で分かること。	必須	
122	住基連携	警告情報	警告情報が設定された個人を画面に指定した際に、警告情報が設定されている旨のメッセージと警告情報アイコンが表示されること。	必須	
123	住基連携	警告情報	帳票出力画面の警告情報に関しては、過去の警告情報は無視され、現在有効な警告情報のみが表示されること。	必須	
124	住基連携	警告情報	警告情報の閲覧に関して、ユーザー毎に許可設定が可能なこと。 また閲覧が許可されていない場合は、警告区分が「*****」で表示されること。	必須	
125	住基連携	警告情報	警告情報が設定された個人を画面に指定した際に、支援措置責任者の確認用ダイアログが表示され、OKを押さないとその個人が表示されないこと。	必須	
126	住基連携	警告情報	上記の確認用ダイアログを支援措置責任者のユーザーIDとパスワードの入力が必要な設定にできること。	必須	
127	住基連携	警告情報	操作者が支援措置責任者の場合、他の支援措置責任者の確認が必要となる等のシステム側で完全なWチェックが可能に対応ができること。	必須	

① 共通

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
128	統計分析	条件検索	システムに登録されたすべての情報に対して、抽出条件を指定して検索が行えること。	必須	
129	統計分析	条件検索	設定された抽出条件はタイトルを付けて保存されること。また次回以降にタイトルを呼び出すことで条件の再作成が不要なこと。	必須	
130	統計分析	条件検索	既存の条件をコピーして、新たなタイトルで条件を作成できること。	必須	
131	統計分析	条件検索	作成した抽出条件のタイトルについて、条件・検索結果の保護が行えること。		
132	統計分析	条件検索	保護された抽出条件のタイトルについて、保護した者のみが解除できること。		
133	統計分析	条件検索	抽出条件は、数値項目の＝、≠、≧、≦、＜、＞だけでなく、文字項目の完全一致やあいまい検索にも対応していること	必須	
134	統計分析	条件検索	あいまい検索は、完全一致、前方一致、中間一致、後方一致のすべてに対応していること。		
135	統計分析	条件検索	項目の未入力や既入力データの検索も行えること	必須	
136	統計分析	条件検索	テキストでの入力項目も抽出条件として使用できること。	必須	
137	統計分析	条件検索	複数の条件をAND、ORで自由に組み合わせられること。また組み合わせに使用可能な条件数に制限が無いこと。	必須	
138	統計分析	条件検索	宛名番号を含む、対象者リストや別の抽出条件で抽出したデータとの比較機能があること。	必須	
139	統計分析	条件検索	比較条件は、「両方に存在する」、「元のみ存在する」、「比較対象のみ存在する」、「どちらかに存在する」の指定ができること。	必須	
140	統計分析	条件検索	抽出オプションとして、「すべて」、「日本人+外国人」、「日本人+外国人+住在外者」、「異動者のみ」の条件が指定できること。	必須	
141	統計分析	条件検索	抽出者数については延べ人数と実人数の表示確認ができること。	必須	
142	統計分析	条件検索	抽出条件のタイトルは、1000パターン以上登録できること。	必須	
143	統計分析	条件検索	抽出条件のタイトルを読み込んで、一部を修正しての再抽出等の再利用ができること。	必須	
144	統計分析	条件検索	抽出条件のタイトル登録については、コメント・作成者・作成日時の登録ができること。	必須	
145	統計分析	条件検索	作成者には、システムログイン時のユーザー名が自動で登録されること。	必須	
146	統計分析	条件検索	抽出した対象者一覧を画面表示できること。	必須	
147	統計分析	条件検索	抽出した対象者について、項目にソート条件を与えて任意に並べ替えできること。	必須	
148	統計分析	条件検索	表示した結果一覧から任意のデータを選択し、ダブルクリックすることで結果登録画面に遷移し結果が確認できること。	必須	
149	統計分析	条件検索	表示した結果一覧から任意の結果データを選択し、結果登録ボタンをクリックする事で結果登録画面に遷移し結果が確認できること。	必須	
150	統計分析	条件検索	表示した結果一覧から任意の結果データを選択し、経年照会ボタンをクリックする事で経年照会画面に遷移し結果の経年データが確認できること。	必須	
151	統計分析	条件検索	抽出した対象者一覧から、出力するテンプレートを選択して結果通知書が出力できること。	必須	
152	統計分析	条件検索	出力できる結果通知書には制限が無く、様々なデザインの結果通知書が出力できること。	必須	
153	統計分析	条件検索	結果通知書は指定した年度以前で、指定した回数分の結果を出力することができること。	必須	
154	統計分析	集計表作成	集計表はシステムで管理しているすべての検診・項目から作成ができること。	必須	
155	統計分析	集計表作成	集計表は設定条件に対して任意の名称をつけて保存できること。	必須	
156	統計分析	集計表作成	作成済みの集計表を引用し新たな集計表を作成ができること。	必須	
157	統計分析	集計表作成	集計表は単年度の集計または複数年度での集計の選択が可能なこと。	必須	
158	統計分析	集計表作成	集計表の集計対象となるデータの中から、任意の項目でグループ化した中で、最初や最後、優先順位の高い項目などを集計対象として絞り込みが可能なこと。	必須	
159	統計分析	集計表作成	集計対象となるデータから絞り込みにより除外されたデータのリストが作成できること。	必須	
160	統計分析	集計表作成	集計表の集計対象の抽出条件として、任意の年度、日付、コード項目の範囲指定が可能なこと。	必須	
161	統計分析	集計表作成	集計対象に住在外者を含むかどうか選択が可能なこと。	必須	
162	統計分析	集計表作成	集計表の集計対象の抽出条件として、事前に基本となる抽出条件の設定が可能なこと。 また、集計処理時点で任意の抽出条件の追加設定が可能なこと。	必須	
163	統計分析	集計表作成	集計表は、任意の集計列項目を設定でき、項目単位に任意の集計条件を設定できること。	必須	
164	統計分析	集計表作成	項目の集計方法は、「件数」、「合計」、「平均」、「最大」、「最小」から任意に設定可能なこと。	必須	
165	統計分析	集計表作成	項目毎に、「実数」、「述べ数」の指定が任意に設定可能なこと。	必須	
166	統計分析	集計表作成	集計表はコードを持つ項目単位に集計列項目を設定でき、コードの範囲を集計条件とする簡易な設定が可能なこと。	必須	
167	統計分析	集計表作成	同一のコードを保持する複数の項目を集計対象として指定が可能なこと。	必須	
168	統計分析	集計表作成	集計表は年齢区分別、地区別、日付別、年月別を集計行とする各集計表が作成可能なこと。	必須	
169	統計分析	集計表作成	地区に関しては最大で6パターン以上の地区で自由に集計できること。	必須	
170	統計分析	集計表作成	年齢区分は、「5歳刻み」、「10歳刻み」、「年齢」、「月齢」など自由に設定できること。	必須	

① 共通

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
171	統計分析	集計表作成	年度毎に年月別の集計表を作成する場合、集計結果が0件の月の表示有無の選択が可能なこと。	必須	
172	統計分析	集計表作成	集計表は任意の集計行項目を設定でき、項目単位に任意の集計条件を設定できること。	必須	
173	統計分析	集計表作成	集計表はコードを持つ項目単位に集計行項目を設定でき、コードの範囲を集計条件とする簡易な設定が可能なこと。	必須	
174	統計分析	集計表作成	同一のコードを保持する複数の項目を集計対象として指定が可能なこと。	必須	
175	統計分析	集計表作成	集計行項目の指定時に、クロスする条件がデータ単位と個人単位のどちらで一致させるか選択が可能なこと。	必須	
176	統計分析	集計表作成	集計行項目を指定した集計時に、件数が0件になる行の表示有無の選択が可能なこと。	必須	
177	統計分析	集計表作成	集計表の集計列項目・集計行項目のそれぞれにおいて、指定された前途の条件に該当しないデータの集計が可能なこと。	必須	
178	統計分析	集計表作成	集計表は、男女別や合計のみの出力が可能なこと。	必須	
179	統計分析	集計表作成	作成した集計条件について、集計条件と結果の保護が行えること。	必須	
180	統計分析	集計表作成	作成した集計条件をExcel様式の定義ファイルとして外部に出力できること。	必須	
181	統計分析	集計表作成	集計条件の定義ファイル(Excel)を直接編集し、条件の修正や追加ができること。また修正した定義ファイルを取り込めること。	必須	
182	統計分析	集計表作成	保護された集計条件について、保護した者のみが解除できること。	必須	
183	統計分析	集計表作成	集計表はExcel、PDFの任意の選択形式で出力できること。	必須	
184	統計分析	基礎統計	任意に指定した数値項目の、「合計値」、「平均値」、「中央値」、「最大値」、「最小値」、「標本偏差」、「件数」の集計が可能なこと。	必須	
185	統計分析	基礎統計	データ抽出機能で抽出したデータを利用して集計できること。	必須	
186	統計分析	基礎統計	データから指定した項目毎に条件を追加して絞り込みができること。	必須	
187	統計分析	基礎統計	度数分布図のグラフが作成可能であること。 また、拡大や印刷も可能であること。	必須	
188	共通	健診機関データ変換	複数のデータ形式（CSV,区切りなし,etc）での検診結果や接種結果のファイル取込が可能なこと。	必須	
189	共通	健診機関データ変換	データ取込時に取り込みファイル内の文字列やコード値を変換し取り込むことが可能なこと。	必須	
190	共通	健診機関データ変換	データ取込時にシステムで未設定のコードが存在する場合はエラーとしてチェック可能なこと。	必須	
191	共通	健診機関データ変換	データ取込時にエラーとなった項目について、画面上で該当データの確認と修正が可能なこと。	必須	
192	共通	健診機関データ変換	データ取込設定の際には条件を指定して、ファイル内の該当するデータのみ取込が可能なこと。	必須	
193	共通	健診機関データ変換	1つのファイルから複数の検診（種類）の結果情報への取込が可能なこと。	必須	
194	共通	健診機関データ変換	データ取込時の住民マッチングには複数の形式での性別の表記に対応していること。（「男性/女性」、「男/女」、「男子/女子」、「男児/女児」、「M/F」など）		
195	共通	健診機関データ変換	データ取込時の住民マッチングでアンマッチになったデータに対して、データ内容の確認と手動でのマッチ処理を行えること。	必須	

別紙 1 機能要件詳細

② 成人検診

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	成人検診	基本設定	各検診の対象性別や年齢を予め登録できること。	必須	
2	成人検診	基本設定	対象者抽出の抽出条件の設定の際に、予め登録した対象性別や年齢から抽出条件の指定が行えること。	必須	
3	成人検診	基本設定	住民に対して、年度の欠診届出の登録ができること。	必須	
4	成人検診	基本設定	欠診届出の内容は、欠診理由と年数、備考の入力ができること。	必須	
5	成人検診	基本設定	複数年度で登録された欠診の届出は、翌年度へ移行できること。	必須	
6	成人検診	基本設定	欠診の届出は複数検診を一回の操作で登録ができること。	必須	
7	成人検診	基本設定	地区別欠診者一覧表、検診別欠診者一覧表、欠診理由別一覧表等の出力が行えること。	必須	
8	成人検診	対象者抽出	成人検診の対象者抽出で、複数検診をまとめて抽出できること。	必須	
9	成人検診	対象者抽出	抽出時の設定として、年齢計算基準日、保険資格基準日、介護基準日、欠診年度、住民税課税年度、住民基準日の指定ができること。対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に節目年齢の設定ができること。また、節目年齢と生年月日範囲の組み合わせでの抽出も行えること。	必須	
10	成人検診	対象者抽出	抽出設定として生まれ年が使用できること。生まれ年の設定は和暦奇数年、和暦偶数年、西暦奇数年、西暦偶数年、奇数年齢、偶数年齢が指定できること。	必須	
11	成人検診	対象者抽出	対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に受診済み者のみ、受診済み者を除いた抽出が行えること。また、受診済みの判定には任意の年度が指定できること。	必須	
12	成人検診	対象者抽出	対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に欠診年度で指定した年度の欠診届出のある者の除外が行えること。	必須	
13	成人検診	対象者抽出	対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に保険資格基準日で指定した基準日の国保資格者のみ/国保資格者を除く抽出が行えること。	必須	
14	成人検診	対象者抽出	国保資格の判定は、基準日時点が特定健診対象基準である年度を通しての有資格かの切り替えができること。	必須	
15	成人検診	対象者抽出	対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に保険資格基準日で指定した基準日の後期高齢のみ/後期高齢を除く抽出が行えること。	必須	
16	成人検診	対象者抽出	対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に保険資格基準日で指定した基準日の他保険者の委託契約有のみでの抽出が行えること。		
17	成人検診	対象者抽出	対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に住民税課税年度で指定した年度の非課税世帯のみ/非課税世帯を除く抽出が行えること。非課税世帯は、住基の非課税世帯と国保の非課税世帯の両方が使用できること。		
18	成人検診	対象者抽出	対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に住民税課税年度で指定した年度に住民税指定範囲のみ/住民税指定範囲を除く抽出が行えること。		
19	成人検診	対象者抽出	対象者抽出の各検診の設定で、各検診毎に介護基準日で指定した基準日の介護保険指定範囲のみ/介護保険指定範囲を除く抽出が行えること。		
20	成人検診	対象者抽出	これらの資格チェックは、使用/未使用の設定ができること。	必須	
21	成人検診	対象者抽出	対象となる住民は基準日を元に、基準日時点の住民を対象とできること。	必須	
22	成人検診	対象者抽出	抽出された対象者一覧の出力ができること。	必須	
23	成人検診	対象者抽出	抽出された対象者に対して、アドレスタックが出力できること。	必須	
24	成人検診	対象者抽出	抽出された対象者のチェックリストが出力できること。	必須	
25	成人検診	対象者抽出	抽出された対象者に対して、受診票が出力できること。	必須	
26	成人検診	対象者抽出	抽出された対象者もしくはその世帯に対して、検診希望調査票が出力できること。	必須	
27	成人検診	結果入力	各種成人検診に対応したデータの管理が行えること。 (結核・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検査)	必須	
28	成人検診	結果入力	1つの画面内で全ての検診の結果登録・更新・照会・削除が行えること。	必須	
29	成人検診	結果入力	健診履歴シートで、受診した健診履歴が一覧で表示されること。	必須	
30	成人検診	結果入力	特定の検診で絞り込みを行うと、選択された検診のみの一覧が表示されること。	必須	
31	成人検診	結果入力	年度や受診日を指定して、結果の登録が行えること。	必須	
32	成人検診	結果入力	不整合なデータが登録されるのを防ぐため、登録時に入力された受診日が年度範囲内かどうかチェックされること。	必須	
33	成人検診	結果入力	結果入力時に、新規登録データが登録済みデータが一目で判別できるようになっていること。	必須	
34	成人検診	結果入力	BMIや肥満度など、入力値による自動計算や自動判定が行えること。	必須	
35	成人検診	結果入力	検診区分、年度、受診日を指定して、該当条件と合致する結果の検索が行えること。	必須	
36	成人検診	結果入力	追加の検索条件として、健診機関、検診方式、変診番号が使用できること。	必須	
37	成人検診	結果入力	同一年度に複数受診をしようとする確認メッセージが表示されること。 確認後、結果の登録は問題なく行えること。	必須	
38	成人検診	結果入力	歯周疾患検診の備式については口内のイメージ図を使用した専用の入力・表示画面が使用できること。		

② 成人検診

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
39	成人検診	結果検索・集計	登録された結果は全て、条件を指定して検索処理が行えること。	必須	
40	成人検診	結果検索・集計	検索結果に対して、結果通知書・アドレスブック・チェックリストの出力がそれぞれ行えること	必須	
41	成人検診	結果検索・集計	結果通知書には検診結果を経年的に複数回分出力することができること。また、出力する回数についても任意に指定できること。	必須	
42	成人検診	結果検索・集計	各種成人検診の結果を一つの帳票にまとめた健康管理台帳が出力できること。	必須	
43	成人検診	結果検索・集計	成人検診集計表として、各がん検診毎に受診者数や受診率、判定、精密検査判定コード毎の人数が分かる集計表が出力できること。		
44	成人検診	結果検索・集計	結果情報に基準日時点の保険資格情報が保持できること。 また、それを使用して地域保健・健康増進事業報告で『(再掲) 国民健康保険の被保険者』項目が集計できること。		

別紙1 機能要件詳細

③ 特定検診・特定保健指導

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	特定健診	保険資格	個人・世帯に対して、保険資格の情報が登録できること。またその履歴が一覧で照会できること。	必須	
2	特定健診	保険資格	保険資格の一括登録が行えること。		
3	特定健診	保険資格	入力日範囲と保険者を指定して、保険資格情報の一覧が照会できること。		
4	特定健診	受診券	国保中央会開発の特定健診等データ管理システムよりダウンロードされる「受診券発行対象者抽出ファイル」より受診券情報の変換・取込処理が可能であること。	必須	
5	特定健診	受診券	個人を指定して特定健診の受診券情報を画面から登録できること。		
6	特定健診	受診券	個人を指定して特定健診の受診券情報の登録状況を画面で一覧表示できること。		
7	特定健診	受診券	個人を指定して特定健診の受診券発行履歴を画面で一覧表示できること。		
8	特定健診	受診券	住民の国保資格状況をチェックし、一括で国保加入者の受診券情報を作成することができること。		
9	特定健診	受診券	住民の後期高齢者資格状況をチェックし、一括で後期高齢者の受診券情報を作成することができること。		
10	特定健診	受診券	年度内に75歳になる住民に対して、国保用や後期高齢者用の受診券を作成する事ができること。		
11	特定健診	受診券	検診の実施や負担額、交付年月日や有効期限などを設定し、住民の欠診届けや生年月日範囲、資格情報に合致した受診券情報の一括作成が行えること。		
12	特定健診	受診券	複数の住民に対して同一の保険者・料金設定の受診券情報を一度に登録できること。		
13	特定健診	受診券	登録した情報より受診券の発行ができること。	必須	
14	特定健診	受診券	登録した受診券情報から、資格喪失の方を除いて受診券の発行ができること。		
15	特定健診	受診券	登録した受診券情報から、転出・死亡などの除票者を除いて受診券の発行ができること。		
16	特定健診	受診券	発行する受診券には過去に受診した特定健診の結果が出力できること。	必須	
17	特定健診	受診券	発行する受診券にはQRコードを作成し、印刷できること。		
18	特定健診	受診券	QRコードへの収録項目を設定でき。また設定の変更はユーザー側で行えること。		
19	特定健診	受診券	年度や保険者、異動日、事由、交付日などの絞り込み条件を指定して、受診券情報一覧が出力できること。	必須	
20	特定健診	受診券	作成した受診券情報より国保中央会開発の特定健診等データ管理システムのインターフェース仕様書で示されている「受診券発行対象者抽出ファイル」を出力することができること。		
21	特定健診	受診券	また、アップロードのファイルサイズが5MBを超えないように、ファイルの分割機能が用意されていること。		
22	特定健診	受診券	年度、保険者を指定し、対象となる受診券情報を一括で削除できること。	必須	
23	特定健診	特定健診・結果	「標準的な健診・保健指導プログラム（平成30年度版）」、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第3.1版）」に基づいた健診項目を管理（登録・更新・削除）できること。	必須	
24	特定健診	特定健診・結果	現病歴、既往歴、家族歴、自覚症状、他覚症状の管理が行えること。	必須	
25	特定健診	特定健診・結果	標準体重、BMI、肥満度、保健指導レベル、メタボリック判定の自動計算／自動判定がおこなわれること。	必須	
26	特定健診	特定健診・結果	前年度の保健指導レベル、メタボリック判定、保健指導実施の有無が同じ結果登録画面上で参照できること。	必須	
27	特定健診	特定健診・結果	同一年度内の複数回受診の管理も行えること。	必須	
28	特定健診	特定健診・結果	健診時の問診内容や回答選択肢について、追加変更が行えること。	必須	
29	特定健診	特定健診・結果	結果入力時に、新規登録データか登録済みデータが一目で判別できるようになっていること。	必須	
30	特定健診	特定健診・結果	特定健診の結果から特定保健指導用学習教材の作成ができること。	必須	
31	特定健診	特定健診・結果	特定健診の結果通知書と、タグシール、対象者名簿が出力できること。	必須	
32	特定健診	特定健診・結果	上記の結果通知書には、過去5年間の受診日と受診結果を同時に出力できること。	必須	
33	特定健診	特定健診・結果	保健指導レベルの判定方法の軽微な変更（判定値の変更等）についてはプログラムの変更なしで対応可能なこと。	必須	
34	特定健診	特定健診・結果	メタボリック判定の判定方法の軽微な変更（判定値の変更等）についてはプログラムの変更なしで対応可能なこと。	必須	
35	特定健診	特定健診・結果	厚生労働省から定められている「標準的なデータファイル仕様」のXMLファイルより特定健診結果の取込・変換処理が可能であること。	必須	
36	特定健診	特定健診・結果	国保中央会開発の特定健診等データ管理システムよりダウンロードされる「特定健診結果等情報作成抽出（健診結果情報）ファイル」、「特定健診結果等情報作成抽出（その他の健診情報）ファイル」より健診結果の取込・変換処理が可能であること。	必須	
37	特定健診	特定健診・結果	システムに登録された特定健診データから、国保中央会開発の特定健診等データ管理システムへのXML形式提出用ファイルが作成できること。また、提出用ファイルは作成から圧縮までをシステム内で行えること。	必須	
38	特定健診	特定健診・結果	システムに登録された欠診届出データから、国保中央会開発の特定健診等データ管理システムで使用する特定健診除外対象者データを作成できること。		
39	特定健診	特定健診・結果	国保中央会開発の特定健診等データ管理システムより取得した特定健診結果等情報作成抽出(除外情報)ファイルを取り込めること。		
40	特定健診	特定健診・結果	国保以外の住民であっても特定健診と同じ項目の結果を管理できること。	必須	

③ 特定検診・特定保健指導

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
41	特定保健指導	利用券	国保中央会開発の特定健診等データ管理システムよりダウンロードされる「利用券発行対象者抽出ファイル」より利用券情報の変換・取込処理が可能であること。	必須	
42	特定保健指導	利用券	個人を指定して特定保健指導の利用券情報を画面より登録できること。		
43	特定保健指導	利用券	個人を指定して特定保健指導の利用券情報の登録状況を画面で一覧表示できること。		
44	特定保健指導	利用券	個人を指定して特定保健指導の利用券発行履歴を画面で一覧表示できること。		
45	特定保健指導	利用券	複数の住民に対して同一の保険者・料金設定の利用券情報を一度に登録できること。		
46	特定保健指導	利用券	登録済みの利用券情報に対して、住民の保険資格情報をチェックし、異動者に対して旧の保険者番号・被保険者証記号・被保険者証番号を一括で設定することができる。		
47	特定保健指導	利用券	利用券情報の変換・取込時には、データ内の宛名番号項目を個人特定キーとして使用するかどうかを選択することができること。		
48	特定保健指導	利用券	登録済の利用券情報（保険者番号・利用券整理番号が同じ利用券情報）については取込みを行うか、行わないかを選択することができること。		
49	特定保健指導	利用券	登録した情報より利用券の発行ができること。		
50	特定保健指導	利用券	発行する利用券には過去に受診した特定健診の結果が出力できること。		
51	特定保健指導	利用券	発行する利用券にはQRコードを作成し、印刷できること。		
52	特定保健指導	利用券	QRコードへの収録項目を設定でき、また設定の変更はユーザー側で行えること。		
53	特定保健指導	利用券	登録されている利用券情報を基に、国保中央会開発の特定健診等データ管理システムのインターフェース仕様書で示されている「利用券情報登録データ」(CSVファイル)を作成することができること。		
54	特定保健指導	利用券	年度、保険者を指定し、対象となる利用券情報を一括で削除できること。	必須	
55	特定保健指導	特定保健指導・結果	保健指導の担当者情報（氏名・職種 等）を管理できること。	必須	
56	特定保健指導	特定保健指導・結果	個人ごとに特定保健指導の予定（日付・支援形態・時間・担当者 等）を登録・管理できること。		
57	特定保健指導	特定保健指導・結果	指導予定として登録済みの内容をカレンダー形式で月別・週別に表示・選択できること。		
58	特定保健指導	特定保健指導・結果	指導予定として登録済みの内容をカレンダー形式で週別に表示・選択できること。		
59	特定保健指導	特定保健指導・結果	指導予定日を指定して、予定を登録済みの住民の一覧を画面で表示できること。		
60	特定保健指導	特定保健指導・結果	指導予定事業に対して「主担当者」の登録ができること。		
61	特定保健指導	特定保健指導・結果	保健指導結果入力時に該当する特定健診の結果から腹囲、体重、血圧の値を自動的に取得できること。	必須	
62	特定保健指導	特定保健指導・結果	結果入力時に、新規登録データが登録済みデータが一目で判別できるようになっていること。		
63	特定保健指導	特定保健指導・結果	画面に表示されている指導予定の一覧をExcelファイルへ出力できること。		
64	特定保健指導	特定保健指導・結果	画面に表示されている予定登録者の一覧（指導予定日別）をExcelファイルへ出力できること。		
65	特定保健指導	特定保健指導・結果	任意の項目の組み合わせで、特定保健指導の一括でのデータ入力ができること。	必須	
66	特定保健指導	特定保健指導・結果	特定保健指導の一括登録対象者は、Excel、CSVなど任意のデータからの読込ができること。	必須	
67	特定保健指導	特定保健指導・結果	「標準的な健診・保健指導プログラム（平成30年度版）」、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第3.1版）」に基づいた健診項目を管理（登録・更新・削除）できること。	必須	
68	特定保健指導	特定保健指導・結果	入力された指導内容（形態・時間・回数）よりポイント計算が自動で可能なこと。	必須	
69	特定保健指導	特定保健指導・結果	結果登録画面から他の成人検診の結果登録画面が呼び出せること。	必須	
70	特定保健指導	特定保健指導・結果	結果登録画面から他のすべての検診結果の結果登録・照会画面が呼び出せること。 また、その逆も可能であること。	必須	
71	特定保健指導	特定保健指導・結果	照会画面で指定した保健指導情報で持っている「腹囲」、「体重」、「血圧」の測定値をグラフ化して表示できること。（初回面接～（支援）～中間評価～（支援）～6か月後評価）	必須	
72	特定保健指導	特定保健指導・結果	特定保健指導の経年照会画面から、他のすべての検診結果の結果登録・照会画面が呼び出せること。	必須	
73	特定保健指導	特定保健指導・結果	他のすべての検診結果の経年照会画面から、特定保健指導の結果登録・照会画面が呼び出せること。	必須	
74	特定保健指導	特定保健指導・結果	支援形態ごとのポイントの設定（時間単位・上限 等）変更ができること。	必須	
75	特定保健指導	特定保健指導・結果	結果入力画面で「初回データ」「中間データ」「支援データ」「終了データ」の必須項目入力チェックが行え、未入力項目にはアイコン表示がされるなどの分かりやすい画面となっていること。	必須	
76	特定保健指導	特定保健指導・結果	特定保健指導の結果から特定保健指導支援計画及び実施報告書の作成ができること。	必須	
77	特定保健指導	特定保健指導・結果	厚生労働省から定められている「標準的なデータファイル仕様」のXMLファイルより特定保健指導結果の取込・変換処理が可能であること。	必須	
78	特定保健指導	特定保健指導・結果	国保中央会開発の特定健診等データ管理システムよりダウンロードされる「特定健診結果等情報作成抽出（保健指導情報）ファイル」より特定保健指導結果の取込・変換処理が可能であること。	必須	
79	特定保健指導	特定保健指導・結果	システムに登録された特定保健指導データから、「特定保健指導結果データ(CSV)」が作成でき、国保中央会開発の特定健診等データ管理システムへの登録が行えること。	必須	
80	特定保健指導	要フォロー者抽出・管理	要フォロー者は統計分析の対象者抽出機能を用いて抽出・管理ができること。	必須	

別紙1 機能要件詳細

④ 妊産婦健診 ⑤ 乳幼児健診 ⑥ 予防接種

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	妊産婦健診	妊産婦健診	母子手帳情報の管理が行えること。	必須	
2	妊産婦健診	妊産婦健診	母子手帳情報の再発行処理が行えること。	必須	
3	妊産婦健診	妊産婦健診	母子手帳情報の複写機能があり、多胎の場合などの入力作業の軽減が図れること。	必須	
4	妊産婦健診	妊産婦健診	実施中の各妊産婦健診に対応したデータの管理が行えること。	必須	
5	妊産婦健診	妊産婦健診	産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る観点から実施される産婦健診に対応したデータの管理が行えること。	必須	
6	妊産婦健診	妊産婦健診	母子健康手帳番号については、自動採番のON/OFFが設定できること。		
7	妊産婦健診	妊産婦健診	母子手帳番号を自動採番している場合でも、手入力で番号を変更することができること。		
8	妊産婦健診	妊産婦健診	既に登録されている母子手帳番号を入力した場合に、エラーメッセージを表示できること。		
9	妊産婦健診	妊産婦健診	妊婦や産婦教室、親子教室などのデータの管理が行えること。	必須	
10	妊産婦健診	妊産婦健診	母子手帳交付台帳の作成が行えること。		
11	妊産婦健診	妊産婦健診	妊娠届出週数統計表の作成が行えること。		
12	妊産婦健診	妊産婦健診	帳票等への母子手帳情報出力時に対象児の出生・健診情報も同時に出力できること	必須	
13	乳幼児健診	乳幼児健診・準備処理	各乳幼児健診事業の対象年齢/月齢範囲、健診回数の登録が行えること。また、設定の変更はユーザー側でも行えること。	必須	
14	乳幼児健診	乳幼児健診・準備処理	抽出対象となる乳幼児健診を任意に指定し抽出が行えること	必須	
15	乳幼児健診	乳幼児健診・準備処理	対象者抽出時に健診実施日から対象の生年月日範囲が自動的に設定できること。	必須	
16	乳幼児健診	乳幼児健診・準備処理	対象者抽出結果から、対象者一覧表（全て/未受診者のみ/受診済み者のみ）の作成ができること。	必須	
17	乳幼児健診	乳幼児健診・準備処理	対象者抽出結果から、対象者数集計表が作成できること。	必須	
18	乳幼児健診	乳幼児健診・準備処理	案内文書、受診票などの通知文書と、タックシール、対象者名簿が出力できること。	必須	
19	乳幼児健診	乳幼児健診	実施中の各乳幼児健診に対応したデータの管理が行えること。 （新生児訪問、乳児一般健診、乳児精密検査、乳児健診、1、6歳児健診、3歳児健診、5歳児健診）	必須	
20	乳幼児健診	乳幼児健診	乳幼児教室やフォロー教室など、実施しているフォロー事業のデータの管理が行えること。	必須	
21	乳幼児健診	乳幼児健診	結果入力時に、新規登録データが登録済みデータが一目で判別できるようになっていること。	必須	
22	乳幼児健診	乳幼児健診	乳児の出生時情報と母親との紐づけを自動的に設定できること。	必須	
23	乳幼児健診	乳幼児健診	保護者、兄弟・姉妹の登録・管理ができること。	必須	
24	乳幼児健診	乳幼児健診	体重、身長、胸囲、頭囲の各パーセント値は自動計算ができること。 また10年ごとの乳幼児身体発育調査での数値見直しにも対応していること。	必須	
25	乳幼児健診	乳幼児健診	カフ指数は自動計算ができること。	必須	
26	乳幼児健診	乳幼児健診	LF、SFD、HFDが自動判定できること。	必須	
27	乳幼児健診	乳幼児健診	歯科健診の歯式については口内のイメージ図を使用した専用の入力・表示画面が使用できること。		
28	乳幼児健診	乳幼児健診	母親の健診結果登録画面から、出生児の乳幼児健診、予防接種の照会画面と結果登録画面へ遷移できること。また、その逆も可能であること。	必須	
29	乳幼児健診	乳幼児健診	乳幼児健診の情報照会時に同一画面上で予防接種の接種状況、フォロー状況等が確認できること。また、母親の健診結果へ遷移できること。	必須	
30	乳幼児健診	乳幼児健診	乳幼児身体発育曲線は、12ヶ月児と72ヶ月児までの身長・体重、頭囲、胸囲と、幼児の身長体重曲線が作成でき、印刷、プレビューができること。またExcelに直接出力ができること。	必須	
31	乳幼児健診	乳幼児健診	個人照会画面から世帯状況が確認でき、兄弟姉妹の情報に簡単に切り替えができること。	必須	
32	乳幼児健診	乳幼児健診	他市町村への健診実施依頼状の登録と印刷が行えること。	必須	
33	予防接種	予防接種・準備処理	予防接種の種類・区分・回数、接種対象条件、接種間隔の登録が行えること。また、設定の変更はユーザー側でも行えること。	必須	
34	予防接種	予防接種・準備処理	抽出対象となる予防接種、区分、回数、接種年月日範囲を任意に指定ができること。	必須	
35	予防接種	予防接種・準備処理	対象者抽出時に接種年月日範囲から対象となる生年月日範囲が自動的に設定できること。	必須	
36	予防接種	予防接種・準備処理	予防接種は個別/集団/予防接種指定それぞれの対象者抽出ができること。	必須	
37	予防接種	予防接種・準備処理	各予防接種毎に対象者一覧表（全て/未接種者のみ）の作成・出力ができること。	必須	
38	予防接種	予防接種・準備処理	案内文書、予診票などの通知文書と、タックシール、対象者名簿が出力できること。	必須	
39	予防接種	予防接種	ツベルクリンの管理が行えること。	必須	
40	予防接種	予防接種	B C Gデータの管理が行えること。	必須	
41	予防接種	予防接種	ポリオデータの管理が行えること。	必須	
42	予防接種	予防接種	四種混合データの管理が行えること。	必須	

④ 妊産婦健診 ⑤ 乳幼児健診 ⑥ 予防接種

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
43	予防接種	予防接種	三種混合データの管理が行えること。	必須	
44	予防接種	予防接種	二種混合データの管理が行えること。	必須	
45	予防接種	予防接種	麻疹データの管理が行えること。	必須	
46	予防接種	予防接種	風疹データの管理が行えること。	必須	
47	予防接種	予防接種	M R 混合データの管理が行えること。	必須	
48	予防接種	予防接種	日本脳炎データの管理が行えること。	必須	
49	予防接種	予防接種	インフルエンザデータの管理が行えること。	必須	
50	予防接種	予防接種	高齢者インフルエンザのデータの管理が行えること。	必須	
51	予防接種	予防接種	H i bデータの管理が行えること。	必須	
52	予防接種	予防接種	H P Vデータの管理が行えること。	必須	
53	予防接種	予防接種	小児用肺炎球菌データの管理が行えること。	必須	
54	予防接種	予防接種	成人用肺炎球菌データの管理が行えること。	必須	
55	予防接種	予防接種	水痘データの管理が行えること。	必須	
56	予防接種	予防接種	B型肝炎データの管理が行えること。	必須	
57	予防接種	予防接種	ロタウィルスデータの管理が行えること。	必須	
58	予防接種	予防接種	おたふくぜデータの管理が行えること。	必須	
59	予防接種	予防接種	風しん抗体検査・風しん第5期のデータ管理が行えること。	必須	
60	予防接種	予防接種	新型コロナウイルスワクチンのデータ管理が行えること。	必須	
61	予防接種	予防接種	臨時接種データの管理が行えること。		
62	予防接種	予防接種	現在管理していない新たな接種項目が追加された場合にも、システムのパラメータ設定のみで対応可能であり、尚且つソフトウェア保守にて対応が可能であること。(カスタマイズが発生しないこと)	必須	
63	予防接種	予防接種	HPVはサーバリックスとガーダシルのワクチンの違いによる接種間隔の違いに対応していること。	必須	
64	予防接種	予防接種	ロタウィルスはロタリックスとロタテックのワクチンの違いによる接種回数と接種間隔の違いに対応していること。	必須	
65	予防接種	予防接種	国で定められた接種時期や接種間隔から外れた場合の入力時にエラーメッセージが表示されること。	必須	
66	予防接種	予防接種	国で定められた接種時期や接種間隔から外れて登録されたデータのチェックを一括で行えること。	必須	
67	予防接種	予防接種	同時接種が可能な予防接種に関しては、同一日接種のエラーメッセージを表示させないこと。	必須	
68	予防接種	予防接種	同時接種の組み合わせは自由に設定ができること。また、設定の変更はユーザー側でも行えること。	必須	
69	予防接種	予防接種	同一画面内で個人の予防接種の結果登録・更新・照会・削除が行えること。	必須	
70	予防接種	予防接種	健診機関、診察医師、問診医師、ワクチン製造社、ワクチン名、LotNo、有効期限、接種量、接種済み証、済み証発行理由、接種後状況、備考等の管理ができること。	必須	
71	予防接種	予防接種	罹患歴を入力し、管理できること。	必須	
72	予防接種	予防接種	結果入力時に、新規登録データか登録済みデータか一目で判別できるようになっていること。	必須	
73	予防接種	予防接種	予診のみの場合も予診情報として管理できること。	必須	
74	予防接種	予防接種	予防接種を他市町村で受けた情報も管理ができること。	必須	
75	予防接種	予防接種	接種履歴一覧に、接種日順に接種した情報が表示されること。	必須	
76	予防接種	予防接種	接種履歴一覧から、予防接種結果詳細画面へワンクリックで展開できること。	必須	
77	予防接種	予防接種	接種済み証の出力が行えること。 接種済み証には、公印の印字ができること。	必須	
78	予防接種	予防接種	接種時期推奨表を自動作成でき、接種していればその接種日も表に印字されていること。	必須	
79	予防接種	予防接種	他市町村への接種依頼状の登録と印刷が行えること。	必須	
80	予防接種	予防接種	接種券発行履歴の管理ができること。	必須	
81	予防接種	予防接種	不正な接種情報を持つ対象者を一括で抽出できること。また、抽出した対象者はExcelファイルで出力できること。	必須	
82	予防接種	予防接種率解析	基準日から生年月日範囲を自動で設定し、対象者、接種者を抽出し、複数種類のグラフが作成でき、また印刷ができること。尚、Excelの機能を用いてのグラフ作成は不可とする。	必須	
83	予防接種	予防接種率解析	抽出の際には「出生して一度も異動していない者のみ」で抽出ができること。	必須	
84	予防接種	予防接種率解析	接種歴から各予防接種毎に累積接種率曲線が画面表示できること。 (Excelの機能を用いてのグラフ作成は不可)		
85	予防接種	予防接種率解析	接種歴から各予防接種毎にヒストグラムが画面表示できること。 (Excelの機能を用いてのグラフ作成は不可)		

④ 妊産婦健診 ⑤ 乳幼児健診 ⑥ 予防接種

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
86	予防接種	予防接種率解析	予防接種を開始年齢によって「0歳」、「1歳」、「3歳」、「6歳」、「その他」に区分して、年齢別に累積接種率曲線を画面表示できること。(Excelの機能を用いてのグラフ作成は不可)		
87	予防接種	予防接種率解析	上記3種類のグラフを表示する際に、地区の指定が任意に選択できること。 地区は6パターンの分類に対応していること。		
88	予防接種	予防接種率解析	上記3種類のグラフの各年齢毎に表示／非表示の設定が任意に選択できること。 年齢はグラフ表示時に指定しての表示／非表示と、全体で表示した後にも任意で表示／非表示が選択できること。		
89	予防接種	予防接種率解析	上記3種類のグラフの元データが画面で確認でき、Excelに出力できること。		
90	予防接種	予防接種率解析	上記3種類のグラフの線、接種推奨期間、標準接種期間の色が自由に変更できること。		
91	予防接種	予防接種率解析	上記3種類のグラフで表示する予防接種の種類やグラフの詳細を設定できること。		
92	予防接種	予防接種率解析	上記3種類のグラフが、同一画面内で拡大ができること。		
93	予防接種	未受診・未接種者管理	未受診・未接種者の抽出が容易にでき、地区別未受診者一覧表、検診別未受診者一覧表、未受診理由別一覧表等の出力が行えること。	必須	
94	予防接種	未受診・未接種者管理	未受診理由・接種不可理由の入力・管理が行えること。	必須	
95	予防接種	要フォロー者抽出・管理	要フォロー者は統計分析の対象者抽出機能を用いて抽出・管理ができること。	必須	
96	共通	乳幼児・予防接種照会	出生時の情報、乳幼児健診、予防接種情報の情報が一画面で全て確認できること。	必須	

別紙1 機能要件詳細

⑦ 健康教室・健康相談

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	健康相談・健康教室	健康相談	個人ごとに健康相談の内容（日付・時間・担当者・相談種別 等）を登録・管理できること。		
2	健康相談・健康教室	健康相談	健康相談の担当者情報（氏名・職種 等）を管理できること。		
3	健康相談・健康教室	健康相談	担当者別の健康相談の一覧を表示できること。		
4	健康相談・健康教室	健康相談	入力項目の中から、複数条件抽出が指定でき、対象者を抽出できること。		
5	健康相談・健康教室	健康教室	教室ごとに健康教室の内容（日付・時間・担当者・教室種別 等）を登録・管理できること。		
6	健康相談・健康教室	健康教室	健康教室の担当者情報（氏名・職種 等）を管理できること。		
7	健康相談・健康教室	健康教室	健康教室の参加者を管理できること。		
8	健康相談・健康教室	健康教室	担当者別の健康教室の一覧を表示できること。		
9	健康相談・健康教室	健康教室	入力項目の中から、複数条件抽出が指定でき、対象教室を抽出できること。		
10	健康相談・健康教室	要フォロー者抽出・管理	要フォロー者は統計分析の対象者抽出機能を用いて抽出・管理ができること。		

別紙1 機能要件詳細

⑧ 報告書

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	報告書	報告書作成	地域保健・健康増進事業報告、 <u>母子保健実績報告</u> は、システムで対応可能なこと。	必須	
2	報告書	報告書作成	地域保健・健康増進事業報告、 <u>母子保健実績報告</u> の項目単位に値を挿入するための任意の集計定義が登録・保存できること。	必須	
3	報告書	報告書作成	地域保健・健康増進事業報告、 <u>母子保健実績報告</u> の集計定義を報告書別、年度別に管理できること。	必須	
4	報告書	報告書作成	地域保健・健康増進事業報告、 <u>母子保健実績報告</u> の集計定義をExcel、CSVへの保存や読み込めること。		
5	報告書	報告書作成	地域保健・健康増進事業報告、 <u>母子保健実績報告</u> の作成時に年度および基準日を指定して集計できること。		
6	報告書	報告書作成	地域保健・健康増進事業報告、 <u>母子保健実績報告</u> の集計時にエラーとなった項目と、その原因の一覧がシステム内で表示できること。	必須	
7	報告書	報告書作成	地域保健・健康増進事業報告、 <u>母子保健実績報告</u> の項目単位に値の集計ができ、集計項目ごとに集計対象者の一覧が表示され集計値に該当する個人が特定できること。（1シート＝1画面で確認が可能が必須、他の機能を用いての個画面上で特定した個人について、集計元の結果データの詳細が参照でき、必要に応じて元データの修正が行え、再集計が可能なこと。（1シート＝1画面で確認が可能が必須、他の機能を用いての個別出力は不可）	必須	
8	報告書	報告書作成	集計した値は直接報告用の地域保健・健康増進事業報告（Excel）に挿入でき、転記や再入力の必要が無いこと。	必須	
9	報告書	報告書作成	複数ファイルに跨る報告書にまとめて、一度で書き込みができること。	必須	
10	報告書	報告書作成	地域保健・健康増進事業報告に関しては、送信データ作成までが可能なこと。	必須	
11	報告書	報告書作成	<u>地域保健・健康増進事業報告</u> 、 <u>母子保健実績報告</u> における毎年の様式変更をシステム保守内で対応し出力確認を行うこと。	必須	

別紙1 機能要件詳細

⑨ 事業支援

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	事業支援	基本設定	実施中のすべての事業の登録・更新・削除ができること。	必須	
2	事業支援	基本設定	健診機関、検診ごとに年齢範囲、料金区分（一般、国保、減免、住登外、自己負担）別の料金の登録・更新・削除ができること。	必須	
3	事業支援	基本設定	クーポン発行者の登録が行えること。		
4	事業支援	スケジュール	事業および検診スケジュールの登録・更新・削除ができること。	必須	
5	事業支援	スケジュール	検診スケジュールを一度に20以上の複数日程にコピーできること。	必須	
6	事業支援	スケジュール	検診スケジュールで実施する検診毎に定員数、性別、年齢範囲の設定ができること。	必須	
7	事業支援	スケジュール	担当者毎のスケジュールが画面にて確認できること。	必須	
8	事業支援	スケジュール	検診スケジュール内を一定時間に区切り、そのタイムスケジュール単位で予約人数の設定ができること。	必須	
9	事業支援	スケジュール	検診スケジュールに担当者の設定ができ、スケジュールが一覧表示できること。	必須	
10	事業支援	スケジュール	担当者が同一時間に複数の検診スケジュールの担当とならないよう、自動でチェックができること。	必須	
11	事業支援	スケジュール	当日の検診スケジュールの担当者がどうかを画面で判断できること。	必須	
12	事業支援	スケジュール	検診スケジュールの検診会場と時間が他の検診スケジュールと重複していないか、確認できること。	必須	
13	事業支援	スケジュール	検診スケジュールがカレンダー形式で一覧表示でき、一覧には検診ごとの予約者数、上限数が表示され上限数に達した検診が容易に判別できること。	必須	
14	事業支援	スケジュール	定員を超えた場合に警告メッセージが表示されること。また、警告メッセージは表示/非表示の切り替え設定ができること。	必須	
15	事業支援	スケジュール	検診スケジュール一覧がExcelに直接出力ができ、一覧には検診ごとの予約者数、上限数が出力できること。	必須	
16	事業支援	検診予約	検診スケジュール別に個人の検診予約追加・更新・削除ができること。	必須	
17	事業支援	検診予約	検診スケジュール別で個人の検診予約状況を確認できること。	必須	
18	事業支援	検診予約	検診毎の受診状況(当年度と前年度)、欠診届け理由、予約登録日時、料金とその合計が表示されること。	必須	
19	事業支援	検診予約	検診スケジュール内に複数の検診がある場合、検診単位で予約番号を設定できること。	必須	
20	事業支援	検診予約	検診スケジュール別に予約済み個人の人数とその一覧が表示できること。	必須	
21	事業支援	検診予約	受診予定の検診とその料金が個人ごとに表示されること。	必須	
22	事業支援	検診予約	検診スケジュール別に予約済み個人の一覧で受付時間の一括設定ができること。		
23	事業支援	検診予約	受付時間の一括設定時には、「予約番号順」、「氏名50音順」、「世帯番号・続柄順」と「行政区順」、「性別」の組み合わせで並べ替えが行えること。		
24	事業支援	検診予約	受付時間の一括設定の詳細設定として、各検診の予約有無順での並び替えが行えること。		
25	事業支援	検診予約	予約者の受付時間を分単位で、何人割り振るかの指定ができること。		
26	事業支援	検診予約	個人毎に設定された受付時間が、各検診の受診票に印刷ができること。		
27	事業支援	検診予約	検診スケジュール別に予約済み個人の一覧で料金区分の変更があった者の料金の一括修正ができること。		
28	事業支援	検診予約	検診スケジュール別に予約済み個人の中から除票者、他で受診済みの者、欠診届提出者を一括で予約解除できること。		
29	事業支援	検診予約	検診スケジュール別で予約済み個人のアドレスブック出力ができること。	必須	
30	事業支援	検診予約	検診スケジュール別で予約済み個人の一覧がExcelに直接出力ができること。	必須	
31	事業支援	検診予約	検診スケジュール別で予約済み個人の一覧から受診票を出力できること。	必須	
32	事業支援	検診予約	個人毎に初回発行か再発行かどうかを判別できること。	必須	
33	事業支援	検診予約	検診スケジュール内の検診単位で複数人の予約を一括で登録できること。	必須	
34	事業支援	検診予約	複数人の予約を一括登録する際、対象者をExcel、CSVなど任意のデータからの読込ができること。	必須	
35	事業支援	検診予約	個人別に検診毎の予約追加・更新・削除ができること。 また、検診ごとの予約順に予約番号が振られること。	必須	
36	事業支援	検診予約	個人が予約している検診スケジュールの一覧が表示でき、予約している検診とその料金合計が表示されること。	必須	
37	事業支援	検診予約	個人別の受診票発行履歴一覧が表示でき、履歴には発行日時、事業、検診スケジュール、料金、科目が表示されること。	必須	
38	事業支援	検診予約	個人別の発行履歴から受診票の再発行ができること。	必須	
39	事業支援	検診予約	個人の減免や保険情報の更新が行え、それに応じて料金が更新されること。	必須	
40	事業支援	検診予約	スケジュール別一括で減免の料金更新ができること。	必須	
41	事業支援	検診予約	検診事業毎に受診票の未発行者一覧がExcelに直接出力ができること。		

⑨ 事業支援

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
42	事業支援	検診予約	検診スケジュール別に予約済み個人への領収書の事前一括出力ができ、発行日を任意に設定できること。		
43	事業支援	検診予約	予約時に検診毎の定員、性別、受診状況、欠診届けの有無のすべてを考慮した予約可否判断と料金計算ができること。	必須	
44	事業支援	検診予約	予約時に国保、後期高齢、減免の資格状況により、予約可否判断と料金計算が行えること。	必須	
45	事業支援	検診予約	同一住民が同一日に実施される別の検診スケジュールの予約を行っていないか確認できること。	必須	
46	事業支援	検診予約	別の検診スケジュールの同一検診の予約の重複も確認できること。	必須	
47	事業支援	検診予約	予約時のチェック内容の選択とメッセージ表示の有無を設定によって変更できること。	必須	
48	事業支援	検診予約	検診の予約時の特記事項を個人別に記録し、参照できること。 また、入力された特記事項のある個人には、アイコン表示で記録の有無を判別できること。	必須	
49	事業支援	検診予約	登録済みの検診の予約を別の検診スケジュールに移動できること。	必須	
50	事業支援	検診受付	検診スケジュール別に個人の検診受付追加・更新・削除ができること。	必須	
51	事業支援	検診受付	予約の無い個人についても検診受付ができること。	必須	
52	事業支援	検診受付	検診スケジュール別で個人の検診ごとの受付状況が確認できること。	必須	
53	事業支援	検診受付	検診ごとの受診状況、予約の有無、料金とその合計が表示されること。	必須	
54	事業支援	検診受付	検診スケジュール別に受付予定の個人の人数とその一覧が表示できること。	必須	
55	事業支援	検診受付	受診予定の検診とその料金が個人ごとに表示されること。	必須	
56	事業支援	検診受付	検診スケジュール別に受付済み個人への領収書の出力ができること。	必須	
57	事業支援	検診受付	検診スケジュール別に受付済み者一覧がExcelに直接出力ができること。	必須	
58	事業支援	検診受付	検診スケジュール別に領収額の5歳区分、性別、料金区分別一覧がExcelに直接出力ができること。	必須	
59	事業支援	カレンダー	検診カレンダーとして、指定年月の検診スケジュールが表示できること。	必須	
60	事業支援	カレンダー	指定年月の検診カレンダーを帳票として出力できること	必須	
61	事業支援	カレンダー	一年間の土、日、祝日が反映された検診カレンダーが印刷できること。		
62	事業支援	予約・受付照会	個人を指定して、予約と受付状況の照会が行えること。	必須	

別紙 1 機能要件詳細

⑩ 番号法・中間サーバー連携

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	番号法共通	番号法	個人番号を住民基本台帳と自動連携し管理できること。	必須	
2	番号法共通	番号法	個人番号対象業務の設定が行えること。	必須	
3	番号法共通	番号法	番号法対象業務内では、個人番号を指定しての住民の検索が可能であること。	必須	
4	番号法共通	番号法	個人番号は番号法対象外業務では利用できないこと。	必須	
5	番号法共通	番号法	番号法対象業務から対象外業務に遷移する際に、エラーメッセージを表示し個人情報を引継がないこと。	必須	
6	番号法共通	番号法	個人番号は業務によって、利用可／不可の指定ができること。	必須	
7	番号法共通	番号法	個人番号はユーザーによって、使用可／不可の指定ができること。	必須	
8	番号法共通	番号法	必要に応じて、団体内統合宛名番号の管理ができること。	必須	
9	番号法共通	番号法	個人番号を外部に出力できない仕組みを要すること。	必須	
10	中間サーバーコネクタ連携	共通	中間サーバー向けの媒体連携用ファイルが作成できること。	必須	
11	中間サーバーコネクタ連携	共通	NEC製中間サーバーコネクタ経由で中間サーバーと「媒体連携」で連携ができること。	必須	
12	中間サーバーコネクタ連携	共通	NEC製中間サーバーコネクタ経由で中間サーバーと「Webサービス連携」で連携ができること。	必須	
13	中間サーバーコネクタ連携	共通	NEC製中間サーバーコネクタ経由で中間サーバーと「サーバー間XMLデータ連携」で連携ができること。	必須	
14	中間サーバーコネクタ連携	共通	NEC製中間サーバーコネクタ経由で「母子保健法による妊娠の届出に関する情報」「予防接種法による予防接種の実施に関する情報」「母子保健法による妊娠届又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報」の情報提供がおこなえること。	必須	
15	中間サーバーコネクタ連携	共通	NEC製中間サーバーコネクタ経由で、特定個人情報「母子保健法による妊娠の届出に関する情報」「予防接種法による予防接種の実施に関する情報」「母子保健法による妊娠届又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報」に関して情報照会ができること。	必須	
16	中間サーバーコネクタ連携	共通	情報提供通履歴確認画面で、情報提供履歴とNEC中間サーバーコネクタ経由での情報提供結果の確認がおこなえること。	必須	
17	中間サーバーコネクタ連携	共通	自動化設定を行う事で、「母子保健法による妊娠の届出に関する情報」「予防接種法による予防接種の実施に関する情報」「母子保健法による妊娠届又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報」の情報提供の定期実行、情報提供結果の自動取得、情報照会の自動問い合わせが行え、操作の簡略化が図れること。	必須	
18	中間サーバーコネクタ連携	共通	事務、事務手続き、機関などの情報提供NWS配信マスタに含まれる項目を、画面より簡易に取り込めること。	必須	
19	中間サーバーコネクタ連携	共通	既存システムで登録を行った副本情報を中間サーバーより削除せずに再利用できること。	必須	
20	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	「母子保健法による妊娠の届出に関する情報」の情報提供が、「登録依頼電文」、「削除依頼電文」の形式で作成ができること。	必須	
21	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	情報提供データ作成時に、宛名番号、妊娠届け出日の範囲、出産予定日の範囲を指定し該当者の履歴データを表示できること。	必須	
22	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	情報提供データ作成時に、「副本に新規登録が必要な妊娠届出」、「登録済みの副本の修正が必要な妊娠届出」、「副本の削除が必要な妊娠届出」で該当者の履歴データを表示できること。	必須	
23	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	その中で、提供が必要な物のみを選択して、データの提供が行えること。	必須	
24	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	データの抽出条件として、再発行は除くなどの独自の条件を含めることができること。	必須	
25	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	副本登録として、登録／削除区分を指定できること。	必須	
26	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	公開開始日、公開終了日を指定して副本登録が行えること。	必須	
27	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	公開開始日、公開終了日を空白にした場合、公開開始日は妊娠届出日、公開終了日は妊娠届出日から5年後の前日の日付が自動で設定されること。	必須	
28	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	依頼元部署コード、依頼元ユーザーIDの指定ができること。	必須	
29	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	情報提供を行ったデータをシステム内部で副本として管理が可能であること。	必須	
30	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	データ作成時には自動的に平成28年1月1日以降のデータが対象とできること。	必須	
31	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	宛名番号を指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
32	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	出力日の範囲を指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
33	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	データセットレコードキーを指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
34	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	削除済みの副本を含める／含めないを指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
35	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	照会した情報提供履歴の変更履歴が照会画面から参照できること。	必須	
36	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	照会した情報提供履歴から元の妊娠届け出データの確認が行えること。	必須	
37	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	上記のチェックリストが作成できること。	必須	
38	中間サーバーコネクタ連携	妊娠の届出に関する情報提供	情報提供履歴から情報提供用のデータの再作成が可能であること。	必須	
39	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	「予防接種法による予防接種の実施に関する情報」の情報提供が、「登録依頼電文」、「削除依頼電文」の形式で作成ができること。	必須	
40	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	情報提供データ作成時に、宛名番号、接種日の範囲、更新日の範囲を指定し該当者の履歴データを表示できること。	必須	
41	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	情報提供データ作成時に、「副本に新規登録が必要な予防接種」、「登録済みの副本の修正が必要な予防接種」、「副本の削除が必要な予防接種」で該当者の履歴データを表示できること。	必須	
42	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	その中で、提供が必要な物のみを選択して、データの提供が行えること。	必須	

⑩ 番号法・中間サーバー連携

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
43	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	データの抽出条件として、臨時接種として登録されているデータは除くなどの独自の条件を含めることができること。	必須	
44	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	任意接種に該当する場合には、対象外とすることができること。		
45	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	大人と子供の予防接種で担当課が異なるケースがある事を考慮し、画面表示時に予防接種種類での絞り込みが行われ、あらかじめ設定されている予防接種種類以外は参照出来ないこと。	必須	
46	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	副本登録として、登録/削除区分を指定できること。	必須	
47	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	公開開始日、公開終了日を指定して副本登録が行えること。	必須	
48	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	公開開始日、公開終了日を空白にした場合、公開開始日は接種日、公開終了日は接種日から5年後の前日の日付が自動で設定されること。	必須	
49	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	依頼元部署コード、依頼元ユーザーIDの指定ができること。	必須	
50	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	情報提供を行ったデータをシステム内部で予防接種情報提供履歴として管理が可能であること。	必須	
51	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	データ作成時には、自動的にそれぞれの予防接種が定期接種化された日付以降のデータが作成対象となること。	必須	
52	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	宛番号、出力日の範囲、データセットレコードキーを指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
53	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	削除済みの副本を含める/含めないを指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
54	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	照会した情報提供履歴の改変履歴が照会画面から参照できること。	必須	
55	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	照会した情報提供履歴から予防接種データの確認が行えること。	必須	
56	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	上記のチェックリストが作成できること。	必須	
57	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	情報提供履歴から情報提供用のデータの再作成が可能であること。	必須	
58	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報提供	予防接種の種類によって担当課が異なる場合が想定されるため、担当課毎の管理予防接種のみ情報提供がおこなえること。	必須	
59	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	「母子保健法による妊娠又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報」の情報提供が、「登録依頼電文」、「削除依頼電文」の形式で作成ができること。	必須	
60	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	情報提供データ作成時に、宛番号、把握日・受診日の範囲、健診の種類を指定し該当者の履歴データを表示できること。	必須	
61	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	情報提供データ作成時に、「副本に新規登録が必要な妊娠時・乳幼児健診」、「登録済みの副本の修正が必要な妊娠時・乳幼児健診」、「副本の削除が必要な妊娠時・乳幼児健診」で該当者の履歴データを表示できること。	必須	
62	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	その中で、提供が必要な物のみを選択して、データの提供が行えること。	必須	
63	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	公開開始日、公開終了日を空白にした場合、公開開始日は出力日、公開終了日は終了日から出力日から任意の月数後の前日の日付が自動で設定されること。	必須	
64	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	依頼元部署コード、依頼元ユーザーIDの指定ができること。	必須	
65	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	情報提供を行ったデータをシステム内部で副本として管理が可能であること。	必須	
66	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	データ作成時には自動的に平成28年1月1日以降のデータが対象とできること。	必須	
67	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	宛番号を指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
68	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	出力日の範囲を指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
69	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	データセットレコードキーを指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
70	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	削除済みの副本を含める/含めないを指定して情報提供履歴の検索・照会ができること。	必須	
71	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	照会した情報提供履歴の改変履歴が照会画面から参照できること。	必須	
72	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	上記のチェックリストが作成できること。	必須	
73	中間サーバーコネクタ連携	妊娠時健診・乳幼児健診の実施に関する情報提供	情報提供履歴から情報提供用のデータの再作成が可能であること。	必須	
74	中間サーバーコネクタ連携	副本整合性チェック	中間サーバーから提供される突合用ファイルを取り込めること。また、取り込んだ副本情報とシステム内の正本との比較が行えること。	必須	
75	中間サーバーコネクタ連携	副本整合性チェック	「母子保健法による妊娠の届出に関する情報」の突合用ファイルを用いて、システムに登録されている情報と副本の差分の抽出が可能であること。	必須	
76	中間サーバーコネクタ連携	副本整合性チェック	「予防接種法による予防接種の実施に関する情報」の突合用ファイルを用いて、システムに登録されている情報と副本の差分の抽出が可能であること。	必須	
77	中間サーバーコネクタ連携	情報照会 共通	RKKCSの団体内統合宛名システム経由での情報照会ができること。	必須	
78	中間サーバーコネクタ連携	情報照会 共通	RKKCSの団体内統合宛名システム経由で中間サーバーとの連携結果が確認できること。	必須	
79	中間サーバーコネクタ連携	情報照会 共通	照会を行った履歴の一覧が表示できること。	必須	
80	中間サーバーコネクタ連携	情報照会 共通	照会履歴一覧の表示時に、照会依頼日の範囲指定ができること。	必須	
81	中間サーバーコネクタ連携	情報照会 共通	照会履歴一覧の表示時に、処理結果として、「仮登録」、「依頼中」、「確定」、「エラー」、「すべて」が複数選択できること。	必須	
82	中間サーバーコネクタ連携	情報照会 共通	上記の照会履歴一覧の表示時に、照会状況として、「仮登録」、「登録失敗」、「照会中」、「取得可能」、「取得済み」、「取りやめ」、「取りやめ失敗」、「取りやめ済」が複数選択できること。	必須	
83	中間サーバーコネクタ連携	情報照会 共通	履歴一覧の中で、一目で情報照会の状況が確認できること。	必須	
84	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報照会	情報照会の機能を用いて、特定個人情報コード「TM00000000000084」の「予防接種法による予防接種の実施に関する情報」の情報照会ができること。	必須	
85	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報照会	情報照会で取得した予防接種の接種情報は、システムに既存の接種情報と同一画面上で比較できること。	必須	
86	中間サーバーコネクタ連携	予防接種の実施に関する情報照会	情報照会で取得した予防接種の接種情報は、接種結果としてシステムに取り込めること。	必須	

⑩ 番号法・中間サーバー連携

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
87	中間サーバーコネクタ連携	汎用情報照会	情報照会の機能を用いて、担当部署が権限を持つ事務・事務手続きに関連する任意の特定個人情報の照会ができること。		
88	中間サーバーコネクタ連携	汎用情報照会	照会結果に含まれる「特定個人情報項目コード」を「データ項目」の日本語名称に変換し画面表示できること。		
89	中間サーバーコネクタ連携	汎用情報照会	照会結果に含まれる日付数値を和暦に変換して画面表示できること。		
90	中間サーバーコネクタ連携	汎用情報照会	照会結果に含まれるコード値を名称に変換して画面表示できること。		
91	中間サーバーコネクタ連携	汎用情報照会	照会結果に含まれる金額数値に単位を付与して画面表示できること。		
92	中間サーバーコネクタ連携	汎用情報照会	照会結果のXMLに含まれる本来の「特定個人情報項目コード」と「値」を確認できること。		
93	中間サーバーコネクタ連携	情報提供通信履歴	出力日の範囲を指定して、情報提供の通信履歴を確認できること。	必須	
94	中間サーバーコネクタ連携	情報提供通信履歴	「確認の必要なもののみ」または「全て」を指定して、情報提供の通信履歴を確認できること。	必須	
95	中間サーバーコネクタ連携	情報提供通信履歴	情報提供の通信結果を確認できること。	必須	
96	中間サーバーコネクタ連携	情報提供通信履歴	情報提供の登録明細で副本一件分の登録依頼の結果を確認できること。	必須	
97	中間サーバーコネクタ連携	情報提供通信履歴	登録に失敗したデータから、情報提供用のデータの再作成が可能であること。	必須	
98	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	「母子保健法による妊娠の届出に関する情報」提供データの定期的な自動作成ができること。	必須	
99	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠の届出の自動連携設定として、「妊娠届出日の範囲」を前回抽出範囲の終了日から、システム日付から何日前での指定がおこなえること。	必須	
100	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠の届出の自動連携設定として、「妊娠届出日の範囲」をシステム日付から何ヶ月前までの期間で指定がおこなえること。	必須	
101	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠の届出の自動連携設定として、「副本に新規登録が必要な妊娠届出」、「登録済みの副本の修正が必要な妊娠届出」、「副本の削除が必要な妊娠届出」で設定し抽出できること。	必須	
102	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠の届出の自動連携設定として、「DV等支援対象者を含む」、「DV等支援対象者を含まない」で設定し抽出できること。	必須	
103	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠の届出の自動連携機能を任意のタイミングで呼び出せること	必須	
104	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	「予防接種法による予防接種の実施に関する情報」提供データの定期的な自動作成ができること。	必須	
105	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	予防接種の自動連携設定として、「接種日の範囲」で前回抽出範囲の終了日から、システム日付から何日前で指定がおこなえること。	必須	
106	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	予防接種の自動連携設定として、「接種日の範囲」でシステム日付から何ヶ月前までの期間で指定がおこなえること。	必須	
107	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	予防接種の自動連携設定として、「更新日の範囲」で前回抽出範囲の終了日から、システム日付から何日前で指定がおこなえること。	必須	
108	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	予防接種の自動連携設定として、「更新日の範囲」でシステム日付から何ヶ月前までの期間での指定がおこなえること。	必須	
109	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	予防接種の自動連携設定として、「副本に新規登録が必要な予防接種」、「登録済みの副本の修正が必要な予防接種」、「副本の削除が必要な予防接種」で設定し抽出できること。	必須	
110	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	予防接種の自動連携時に、「DV等支援対象者を含む」、「DV等支援対象者を含まない」で抽出できること。	必須	
111	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	予防接種の自動連携機能を任意のタイミングで呼び出せること	必須	
112	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	「母子保健法による妊娠届又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報」提供データの定期的な自動作成ができること。	必須	
113	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠届・乳幼児健診の自動連携設定として、作成する対象の健診情報種類を設定できること。	必須	
114	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠届・乳幼児健診の自動連携設定として、「把握日・受診日の範囲」を前回抽出範囲の終了日から、システム日付から何日前での指定がおこなえること。	必須	
115	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠届・乳幼児健診の自動連携設定として、「把握日・受診日の範囲」をシステム日付から何ヶ月前までの期間で指定がおこなえること。	必須	
116	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠届・乳幼児健診の自動連携設定として、「副本に新規登録が必要な妊娠届・乳幼児健診」、「登録済みの副本の修正が必要な妊娠届・乳幼児健診」、「副本の削除が必要な妊娠届・乳幼児健診」で設定し抽出できること。	必須	
117	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠届・乳幼児健診の自動連携設定として、「DV等支援対象者を含む」、「DV等支援対象者を含まない」で設定し抽出できること。	必須	
118	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	妊娠届・乳幼児健診の自動連携機能を任意のタイミングで呼び出せること	必須	
119	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	情報照会の結果の確認を自動的に行うこと。	必須	
120	中間サーバーコネクタ連携	自動連携機能	情報照会の結果の取得を自動的に行うこと。	必須	

別紙1 機能要件詳細

① その他事業

項番	分類		機能要件	要件区分	備考
	大	中			
1	その他事業	その他事業	親子健診のデータを管理できること。 (小学1～3年の生徒と保護者が対象。健診項目は親子とも同じ。)	必須	
2	その他事業	その他事業	小児生活習慣病健診のデータを管理できること。 (小学4年～中学3年を対象。)	必須	
3	その他事業	その他事業	認知症検査のデータを管理できること。 (長谷川式認知症スケール)	必須	
4	その他事業	その他事業	糖尿病指導のデータを管理できること。 (6か月間の指導)	必須	
5	その他事業	その他事業	コレステロール指導のデータを管理できること。 (6か月間の指導)	必須	

別紙2 機器仕様

1. 健康管理システムサーバ

項番	要件	仕様	例示 (型番)	例示 (製品)	備考
1	筐体	・ラックマウント型 ・19インチラック搭載可能で、1Uサイズ	・ N8100-2842Y	・ Express5800/R120h-1E 8x 2.5型モデル	
2	CPU	・インテル® Bronze3204プロセッサ相当以上 ・6コア相当以上	・ N8101-1591A	・ CPUボード(6C 1.90GHz/Bronze 3204)	
3	メモリ	・16GB以上	・ N8102-720	・ 8GB増設メモリボード(1x8GB/R/SR) × 2	
4	HDD	・RIAD5構成で実効容量1.2TB以上の容量	・ N8150-547 ・ N8103-218	・ 増設用600GB HDD × 4 ・ フラッシュバックアップユニット	
5	RAID	・ RAID5構成	・ N8103-193	・ RAIDコントローラ(2GB RAID 0/1/5/6)	
6	ドライブ	・DVD-ROM相当以上	・ N8151-137 ・ N8154-125	・ 内蔵DVD-ROM ドライブ ・ 内蔵DVDドライブ増設キット	
7	インターフェ	・1000BASE-T対応LANコネクタ×6ポート以上	・ N8104-181 ・ N8116-71 ・ N8104-193	・ 1000BASE-T 接続ボード(4ch) ・ ライザカード(2xPCI) ・ 1000BASE-T接続LOMカード(2ch)	標準で2ポート実装のため、増設は4ポート
8	電源	・冗長化すること	・ K410-E246(03) ・ N8181-160 ・ N8181-174	・ AC電源ケーブル(3m) × 2 ・ 電源ユニット(800W/Platinum) × 2 ・ 冗長電源ケーシング	
9	OS	・ WindowsServerStandard2019	・ 9EM-00670	・ 日英(OPガバメント)Windows Server STD CORE 2019 16 Licenses ライセンス	
10	バックアップ	・イメージバックアップが取得できること	・ AIP18SD-MK ・ AIP18SV-AGA ・ AIP18SV-AGSA	・ ActiveImage Protector 2018 Update Server/Desktop Edition メディアキット ・ ActiveImage Protector 2018 Update Server Edition アカデミック/ガバメント 1-4 ・ ActiveImage Protector 2018 Update Server アカデミック/ガバメント 年間サポート 1-4 × 4	
11	その他	・システムを使用する端末の台数分のCALを準備すること ・データベースにソフトウェア等が必要な場合は過不足なく準備すること ・無停電電源装置等による停電時の電源供給を担保すること ・ファンは冗長化すること	・ R18-05785 ・ L104650 ・ L104650-M ・ L69126 ・ L69126-M ・ N8181-166	・ 日英(OPガバメント)Windows Server DeviceCAL 2019 ライセンス ・ 【1Click】 Oracle Database Standard Edition 2 Named User Plus × 10 ・ CTCオラクルサポート 【1Click】 Oracle Database Standard Edition 2 Named User Plus × 10 ・ 【1Click】 Oracle Database Personal Edition Named User Plus ・ CTCオラクルサポート 【1Click】 Oracle Database Personal Edition NUP ・ 冗長ファンキット	Oracleは提案システムのデータベース構造により、不要な場合もあり

2. 健康管理システムバックアップサーバ

項番	要件	仕様	例示 (型番)	例示 (製品)	備考
1	筐体	・ラックマウント型 ・19インチラック搭載可能で、1Uサイズ ・RAID5構成で実効容量6TB以上を確保すること	・ WS5420RN08S9	・ Windows Server IoT 2019 for Storage Standard Edition搭載 4ベイラックマウント NAS 8TB	

3. バーコードリーダー

項番	要件	仕様	例示 (型番)	例示 (製品)	備考
1	本体	・USB接続で、Windows10に対応していること			
2	読取コード	・ JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E、GS1 DataBar、CODE39、CODE128、Codabar (NW7)、ITF (Interleaved 2 of 5)、CODE93	・ BR-CCD/TSW	・ USB接続CCDタッチ式バーコードリーダー	